

1歳のお子さんや年長のお子さんの保護者の方へ

麻しん・風しんの予防接種は**2回**です

MRワクチン

麻しん・風しんを予防する

最も有効な手段です。

MRワクチン(麻しん風しん混合ワクチン)は、
麻しんと風しんを同時に予防できる弱毒生ワクチンです。

お子さんを守るため、**2回の接種を忘れずに**受けましょう。



ま 麻しん(はしか)

- 空気感染する感染症で、感染力が非常に強いです。
- 感染すると、免疫機能が低下し、肺炎や中耳炎などの合併症を引き起こすことがあります、およそ1,000人に1人が亡くなります。
- 感染後、数年から十数年を経て、SSPE(亜急性硬化性全脳炎)という重篤な脳の病気を発症することがあります。

ふう 風しん

- 飛沫感染する感染症で、発疹、発熱、リンパ節の腫れなどの症状がみられます。
- 妊娠中の女性への感染を防ぐことが重要です。
- 妊娠20週頃までに感染すると、胎児に感染し、生まれてくる赤ちゃんに先天性心疾患、難聴、白内障などを起こす「先天性風しん症候群」を引き起こすことがあります。

MRワクチンの重要性

MRワクチンは長年にわたり広く使用されてきたワクチンです。
2回接種することで、発症を防ぐことにつながります。

また、新型コロナウイルスの流行以降、MRワクチンの接種率が世界的に低下している影響で、麻しんの流行が拡大しています。一人一人のお子さんの接種が、社会全体の感染拡大を防ぐ力になります。



定期接種の対象者と接種スケジュール

MRワクチンの定期接種は合計2回です。

2回接種することで、95%程度の人が麻しんと風しんに対する免疫を獲得することができます。接種時期をしっかりと確認しましょう。

接種時期	対象年齢	接種時期の確認のめやす
1回目	1歳	1歳になったらできるだけ早く接種を検討しましょう
2回目	5歳以上～7歳未満 (小学校入学前の1年間)	5歳になったらできるだけ早く接種を検討しましょう

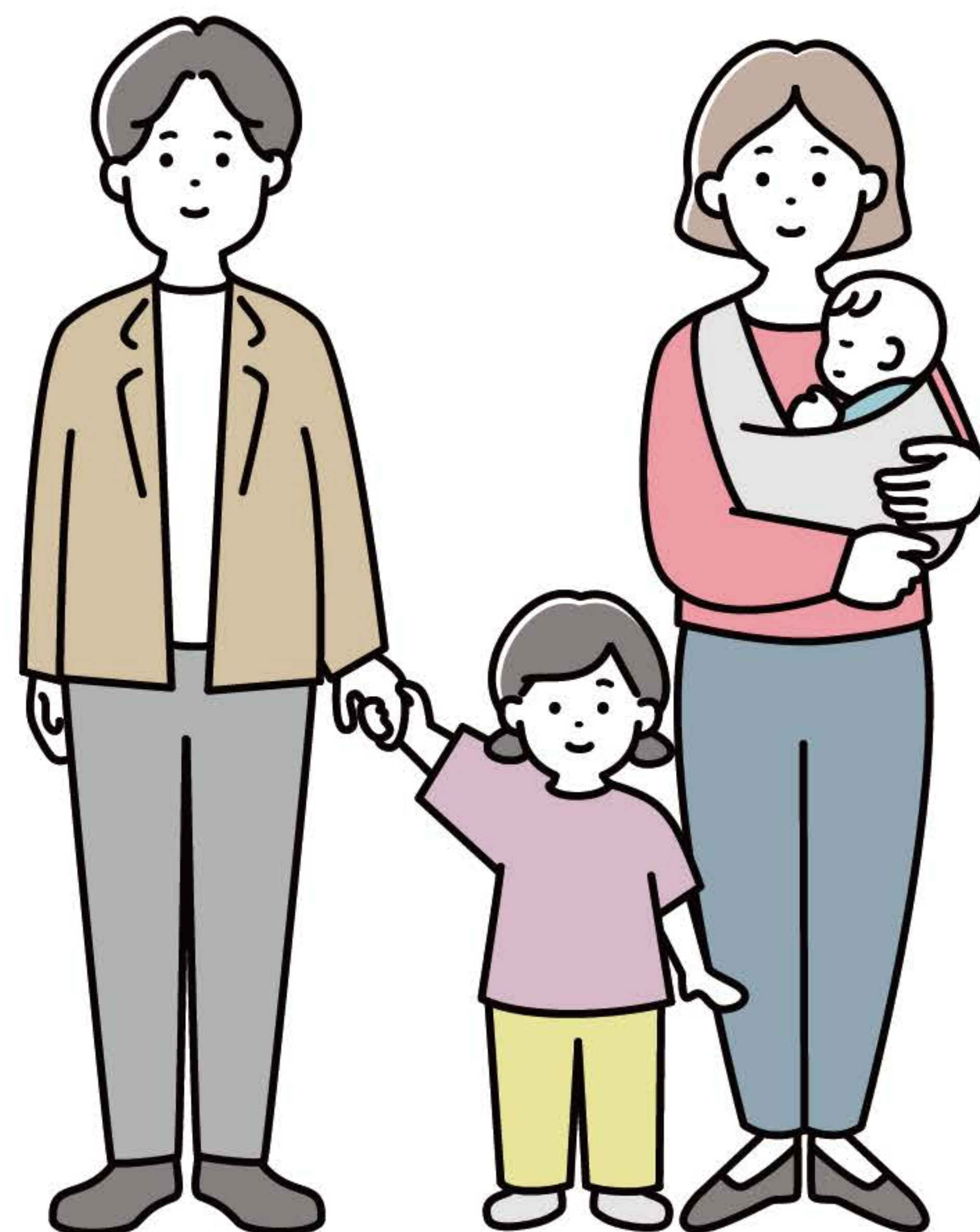
特に、就学前の2回目の接種を忘れてしまう方が多いため、5歳になったら2回目の接種を忘れずに。

定期接種を受ける方法と費用

定期接種はお住まいの(住民票のある)市町村(特別区を含む)で実施されます。接種できる場所や費用について、詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。

MRワクチンの安全性

ワクチン接種後の症状として、発熱、発しん、鼻汁、咳嗽(せき)、注射部位紅斑(赤み)・腫脹(腫れ)などがみられます。重大な副反応として、アナフィラキシー、急性散在性脳脊髄炎、脳炎・脳症、けいれん、血小板減少性紫斑病がごくまれに(0.1%未満)報告されていますが、ワクチンとの因果関係が明らかでない場合も含まれています。



予防接種健康被害救済制度

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。

極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度が設けられています。制度の利用を申し込むときは、予防接種を受けたときに住民票を登録していた市町村にご相談ください。

MRワクチンについてさらに詳しく知りたい方は、厚生労働省ホームページでご確認ください。

厚生労働省ホームページ

厚労省 MRワクチン



2026年 9月